



**「ポジティブ」が湧き出る仕掛けづくりを。
 街、モノ、企業を変えるクリエイティブ力**

東海林諭宣社長自らリノベーションを手がけた秋田県南通亀の町の「ヤマキウビル」にオフィスを構えるデザイン会社、See Visions(シービジョンズ)。多彩な仲間たちとともに常に新しいことに挑戦しながら、「面白い」「楽しい」を生み出し続け、関わる者を活気づけている。



代表取締役
東海林 諭宣
 Akihiro Shoji

クリエイティブの力で課題解決

グラフィックデザイン、ウェブデザイン、雑誌やフリーペーパーの制作・編集から建物のリノベーションや店舗デザイン、イベントの企画・運営まで手掛ける同社の制作実績は数知れない。代表作は「秋田ノーザンハピネッツ」や「あきた舞妓」のロゴマーク、秋田空港国内線ターミナルビル2階「レストランそら」のリニューアルデザインなど。他にも自社媒体として、住宅情報誌「JUJ(ジュー)」、フリーペーパー「otto(オート)」「南通通信」を立ち上げたり、毎月県内外からゲストを呼んでのトークライブ(勉強会)「Discover Kamenochi」を開催したりと話題に事欠かない。最近では新たなまちづくりの手法として注目される「エリア・リノベーション」の成功例として南通亀の町が話題を集めるほか、人を集めるデザ

イン、コンセプトワーク、プランニングが好評で、店舗デザインの相談が立て続けに寄せられている。

東海林社長は仙南村(現美郷町)の生まれ。都内の大学を卒業後に飲食店をチェーン展開する「際(きわ)コーポレーション(東京都)」に入社し、数々の店舗デザインを担当した。帰郷して2年ほどフリーデザイナーとして活動したのち、2005年に同社を起業。今年で13期目に突入した。13人になった仲間たちは、グラフィックデザイナー、ディレクター、ウェブデザイナー、エディター、ライター、一級建築士など多彩な顔ぶれが並ぶ。

同社の仕事は営業を置かず、クリエイターそれぞれがお客さまのもとに出向いて課題解決にあたる。「クライアントと直接話をしないといい仕事はできないと思うんです。クリエイターがクライアントに対面することで、責任感とやりがい、頼られる喜びを感じられる。結果、いい仕事に繋がると考えています」。「関わるもの全てをポ

ジティブにする」「ネガティブをポジティブにする仲間を増やす」がモットー。自由な発想で面白い仕事を生み出し、時には泥臭く熱く粘り強く、プレゼンを繰り返す。先を読み取る嗅覚で「これは絶対に面白くなる」と感じたら、実現に向けて全力で走り出す。

街にもっと「面白い」「楽しい」を

ある日、街を歩いて目に止まったのが南通亀の町にある狸小路。居酒屋が店を閉め、閑散とした小路を見て「面白いことができそうだ」と直感した。店舗デザインの経験から居酒屋跡のリノベーションを思いついた。こうして2013年9月にスペインバル「酒場カメバル」を、その翌年には向かい側に「サカナカメバル」を開いた。築45年3階建てで空き物件になっていた「ヤマキウビル」に着目したのも「このビルなら絶対に面白ことができる」と確信したからだ。リノベーション費用の負担と投資回収計画を綿密に練り、ビルの所有者にプレゼンを2度試みるも玉砕。粘りに粘って、3度目に構想が認められた。そうして思い描いたリノベーションの全体像が完成したのは2015年。今は1階にカフェやビアパブ、2階と3階にはオフィスが入る。広い敷地を活かしてビル脇の駐車場兼広場でマルシェイベント「亀の市」を開き、地域の住民とともに楽しんでいる。昔の面影を残しつつ、新しい活気を生み出す中心地に変身したことにビル所有者も安堵し、今ではすっかりカフェの常連だ。

次のアイデアはビルの敷地内にある240坪の旧倉庫のリノベーション。イベントホールや雑貨屋、花屋、オフィスなどが入る建物に生まれ変わる画を描いている。

仲間の可能性を信じて共創を

創業時はグラフィックの仕事が大半だったが、設計やイベントにまで業務を広げた背景とは――。「事業拡大の計画は最初からありません。僕はいつも余白を楽しんでいる。何かをやるから人を募集するのではなく、“この人のこの能力を活かしたい”“この人と一緒に仕事がしたい”、そう思える仲間と出会った時、その人のやりたい仕事を一緒に進める。カメバルができたのは、腕のいい料理人と出会えたから。カフェを作ろうと思ったのは、コーヒーにすごく詳しい仲間との出会いから。雑誌の編集も設計の仕事も、全部そんな感じで始めました」と笑う。経営理念は起業時から変わらない。「自分たちがここで楽しく生きていくためにはどうしたらいいのか。自分、そしてスタッフや家族が楽しくやっていたらいいのかな。それだけを考えて会社を作り、仲間と一緒にアイデアを出してきました。無理はしないで今をとにかく楽しく。作り手が楽しんでなければ、作るものも楽しくないものになってしまうと思うから」。そんなポジティブな思いは関わった街に、モノに、企業に波及して、活気を生み出す源泉となっていく。



- A 「大館曲げわっぱ協同組合」ウェブサイト
- B 自社媒体・住宅情報誌「JUJ」
- C 「KAMENOCHO STORE」
- D 「KAMENOCHO STORE」の店内
- E 「秋田ノーザンハピネッツ」ロゴ

株式会社See Visions

〒010-0011 秋田県秋田市南通亀の町4-15 ヤマキウビル
 TEL. 018-836-3331 FAX. 018-838-0039

- 創業/2005年
- 資本金/500万円
- 従業員数/13人
- 事業内容/グラフィックデザイン、ウェブデザイン、店舗デザイン、雑誌・書籍・フリーペーパー等の制作・編集、イベントの企画・運営